

京都府の一体的実施

平成24年4月1日事業開始

京都ジョブパークを拡充し、京都府の実施する総合就業支援業務と、職業紹介・職業相談等のハローワーク業務を一体的に実施

府

総合就業支援業務



国

職業紹介・職業相談の実施等

① 事業内容

- ・京都ジョブパークを利用する一般求職者に対し、カウンセリングや職業紹介・職業相談等の就職支援を実施
- ・求人企業に対し、求人受付やコンサルティング・セミナー等の支援を実施

② 協定・事業計画

- ・京都府知事と京都労働局長の間で協定(*)を締結
- ・数値目標を盛り込んだ事業計画を京都府と京都労働局の間で策定

(*)一体的な実施に当たり、この事業の目的を達成するため、府と局は、相互の要請に対し、誠実に対応する旨を規定。

③ 運営協議会

- ・京都府、京都労働局、ハローワーク京都七条で構成する運営協議会を設置

利用者目線に立った一体的実施により、ワンストップサービスの充実・強化を図り、求職者への生活・就業支援や求人企業向け支援を実現

(1) 実施体制

府

・キャリアカウンセラー等124名を配置

○カウンセリングコーナー

※年齢とキャリアに応じて、若手人材・中核人材・熟練人材の3コーナーを設置

○専門コーナー

※大学生・留学生・はあとふる・農林水産業・福祉人材・自立就労支援・マザーズ・京都JPカレッジ

○中小企業人財確保センター ○北部サテライト

国

・職員4名、就職支援ナビゲーター14名、職業相談員6名(北部サテライト含む)を配置

・求人情報提供端末26台、職業紹介端末11台を配置(マザーズコーナー、北部サテライト含む)

○ハローワークコーナー

※府内全域を対象に雇用保険、職業訓練の手続き等を実施

○キャリアアップハローワーク

○マザーズコーナー

○北部サテライトハローワークコーナー

(2) 事業目標と取組状況

	25年度事業目標	取組状況(26年3月末時点)【 】は前年同期比
① 新規登録者数	15,000 人	13,628 人【90.9%】
② 相談件数	110,000 件 (うちハローワークコーナー相談件数 22,500件)	121,569 件【110.5%】 (うちハローワークコーナー相談件数 22,001件)
③ 総利用者数	180,000 人	186,646 人【103.7%】
④ 求人開拓数	21,000 人	21,762 人【103.6%】
⑤ 就職者数	8,000 人	8,608 人【114.8%】
⑥ 就職内定率	50.0 %	63.2 %



”全国初の完全ワンストップ化”の実現

—「オール京都」体制（公・労・使）による「京都ジョブパークモデル」—

京都府知事 山田 啓二

京都ジョブパークは、平成19年に公・労・使の「オール京都」体制により設立し、就業から生活相談、生活再建までをワンストップでサポートする文字どおりの「総合就業支援拠点」です。

若年者、中高齢者など、それぞれの得意分野の担当カウンセラーによる、きめ細かい継続的なご支援で就業実現を目指す体制をつくっているほか、求職中で生活にお困りの方の就労と生活相談を一体的に行う「自立就労サポートセンター」、子育て中のお母さんへの就業と保育所探しなどの育児支援を一体で行う「マザーズジョブカフェ」をはじめ、障害のある方の就労を支援する「はあとふるコーナー」、府内の中小企業等の人財確保を支援する「中小企業人財確保センター」、無料で労働相談を行う「京都中小企業労働相談所」など、就労に関するあらゆる支援を、ここ京都ジョブパークの一カ所のできる仕組みをオール京都体制で構築してきました。

一方、ジョブパーク内のハローワーク・コーナーの機能が「職業紹介」に限られていたことから、雇用保険や職業訓練の手続きは住居地のハローワークに行っていただく必要があり、真のワンストップサービスができていませんでした。

そこで、ハローワーク・コーナーの機能強化による一体的実施を国に提案し、平成24年4月から全国で初めて、府内全域を対象として、雇用保険や職業訓練など就業に関するあらゆる手続きを含めた完全ワンストップ化を実現させるとともに、京都府自らも無料職業紹介権を再取得し、多岐にわたる求職・求人ニーズに対応した質の高い就業支援拠点としての体制を整えることができました。

このように何よりも大切なことは、国と自治体が府民の皆様のために互いに力を合わせて、より良いサービスを提供していくことであり、今後とも、利用者起点を基本とし、一体的運営のメリットを最大限に活かし、府民の皆様が安心・安定して生活・就業できるご支援を行えるよう、進化を続けていきたいと考えています。府民の皆様、是非京都ジョブパークをご利用ください。

一体的実施事業による就職成功例

女性：20歳代 希望：事務系職種

① 本人の状況・背景・来所に至る経過

- ・未就職のまま大学を卒業し、その後非正規雇用での仕事を繰り返す。
- ・事務職の経験は6ヶ月間のインターンシップのみ。
- ・事務職の正社員を目指し、京都ジョブパークでの就職活動を開始。

② 抱える課題

- ・事務系職種で就職を希望するが事務経験が浅い。
- ・事務職に必要なレベルのコンピュータ技能がない。
- ・働いた経験も少なく、社会人基礎力が不足している。

③ 支援内容・ポイント・経過

- ・担当カウンセラー（京都府）から社会人基礎力養成とパソコンスキルに主眼をおいた職業訓練の受講を提案し、就職支援ナビゲーター（ハローワーク）へ引き継ぐ。
- ・住所を管轄するハローワークへ足を運ぶことなく、カウンセリング後に京都ジョブパーク内ハローワークコーナーで、訓練受講申込、受講指示を実施。
- ・2ヶ月間の訓練受講により、社会人基礎力・パソコンスキルを身につけ、企業が求めるヒューマンスキルを習得。さらに、訓練と並行して担当カウンセラーによるカウンセリングを実施することで、就職へのモチベーションを維持する。

④ 結果

- ・ハローワークコーナーの紹介で病院総合受付の正社員求人に応募。
- ・訓練で習得した社会人基礎力・パソコンスキルにより内定獲得。

○ 担当カウンセラーの所感

不足していた社会人基礎力を訓練により習得、さらに訓練と並行して京都ジョブパークでのカウンセリングとハローワークコーナーからの情報提供によりマッチングに繋がった。

<京都ジョブパークでの就職支援>

初回相談

主担当によるカウンセリング (JPカウンセリング各コーナー)

- 主担当:カウンセラー
- ・就職決定まで責任をもって担当
- ・JPのメニューの中から最適なものを組み合わせ最短での就職を実現

課題に応じた スキル習得

- 京都JPカレッジ:ヒューマンスキル
- JPセミナー:就活スキル・テクニック
- 公共職業訓練:テクニカルスキル

ハローワーク 機能 (ハローワークコーナー)

- ・職業相談
- ・求人情報の提供
- ・雇用保険の各種手続
- ・職業訓練の受講あっせん、受講指示等

マッチング(京都企業への就職)

ハローワークと京都府の二層式紹介

- ※府求人での企業説明会 ※HWとJPIによるペアマッチング
- ※HW求人検索機にJPで作成した企業魅力PRシートを掲載